授業科目	＊英語学概論Ⅰ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	西原　真弓						
授業概要	英語学とは英語という言語を様々な角度から探求していく学問です。この授業では、私たちが日頃使っていることばに焦点をあて、人間のことばの面白さや深さを「英語」という言語を通して探求しながら理解を深めていきます。英語学概論Ⅰでは、英語学で扱う分野のうち音声学・音韻論、形態論、統語論、意味論、コーパス言語学の基礎的な考え方を学習し、言語に関する理解をより深めていくことを目指します。						
授業形態	講義				授業方法	ディスカッション	

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	英語の歴史、音声学と音韻論、形態論、統語論、意味論、コーパス言語学について、学習した基礎的知識を理解している。（DP1） 英語学の理論を理解し、基本的なことを他の言語現象に応用し考察することができる。（DP3-1）
理想的レベル	英語の歴史、音声学と音韻論、形態論、統語論、意味論、コーパス言語学について学習したことを深く理解し、他者に説明できる。(DP1) 音声学・音韻論、形態論、統語論、意味論で学習した理論のうちいくつかを応用して英語の特徴的な現象を自分なりに分析することができる。(DP3-1)

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	80%	学期末テストにより、学習内容に関する理解度と応用力を評価する
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	20%	学習した理論を英語の現象に応用する課題に取り組む関心・意欲を評価する

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	EN21205J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
授業で学習する各理論を復習し、理解を深めると共に他の英語の現象に応用してみる。	4

授業計画	
第 1 回	言語学、英語学とは 人間のことばを研究するとはどういうことか「英語学」の様々な分野の見方を理解しよう。
第 2 回	英語の歴史 英語の歴史を概観し、英語のバリエーションについて考えよう。

第 3 回	音声学・音韻論（音素と異音） なぜ water を「ウォラー」want to を「ウァナ」のように発音するのか。[t]でも実際には様々な発音に変化することを知ろう。
第 4 回	音声学・音韻論（アクセント） なぜ外来語として日本語に入ってくると元の英語とアクセントの位置が変わるのか音節とアクセントについて理解しよう。
第 5 回	音声学・音韻論（リズムとイントネーション、音変化） なぜ Native speaker の早い英語は聴き取れないのか、そのからくりを理解しよう。
第 6 回	形態論 英語という言語はどんなパーツからできているのか理解しよう。
第 7 回	形態論 英語では新しい単語がどうやってつくられるのかそのメカニズムを理解しよう。
第 8 回	統語論 英語の文の構造を知るために、まず英語の句構造について理解を深めよう。
第 9 回	統語論 英語の文の内部構造を理解しよう。
第 10 回	意味論 ことばの意味とは何だろう。語と語の間の意味関係も考えてみよう。
第 11 回	意味論 意味の拡張（メタファー、メトニミー）のしくみを考えよう。
第 12 回	意味論 ことばの意味に見られる主観性とコンテクストに意識を向けてみよう。
第 13 回	意味論 まとまりのある文章の結束性と情報構造について知ろう。
第 14 回	コーパス言語学 コーパスを使うと何ができるようになるのかを理解しよう。
第 15 回	これまでの学習の総括と理解度確認のための試験
テキスト	長谷川瑞穂編著（2014）『はじめての英語学　改訂版』　研究社　　ISBN 978-4-327-40165-8
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	以下、図書館で指定図書として閲覧・貸出可能： 〇本当にわかる言語学 ： フシギなくらい見えてくる! 〇言語学入門 ： これから始める人のための入門書 〇明解言語学辞典 〇言語学が好きになる本 〇First steps in English linguistics 2 版
課題に対するフィードバックの方法	学期末試験は、後日返却する。 その他（調べ学習）は翌週の授業内でのディスカッション中にコメントをする。

学生へのメッセージ・コメント	講義を受身的に聞くだけでなく、自分で学習したことを使いながら、英語を様々な角度から分析していくことで、英語だけでなく日本語にも関心を持つことができるようになります。我々が無意識に使っていることばは、ふと立ち止まって「なぜこう言うんだろう」と意識を向け始めると実に面白い現象がたくさん詰まっているということに気づけるように言語現象に意識を向けてノートに書き留めてください。また、英語を分析するためには英語の基礎力が求められるため、英語に関する知識は他の授業でも貪欲に身につけるようにしよう。